



CONTENTS

□ 新年のごあい	>さつ	1
□ 世界かんがし	、施設遺産登録「備前渠用水路」	7
□ 埼玉県知事へ	への要望活動	8
□ 農業農村整備	睛の集い	9
□ 令和3年度	農林水産予算概算決定の概要	11
□ 令和 2 年度	第2回理事会・第3回監事会	12
□ 令和 2 年度	土地改良施設の診断・管理指導結果の概要	13
□ 令和 2 年度	埼玉県多面的機能支援推進会議研修会	15
□第8回 彩の	国 農業・農村景観フォトコンテスト	16
□ お知らせ		19
□「さいたま中	央土地改良区」が設立されました	19
□ 金利改定		19
□ 当会における	る新型コロナウイルス感染症対策について…	20
		20
□ 謹賀新年…		21





新年を迎えて

水土里ネットさいたま 埼玉県土地改良事業団体連合会 会長職務代理者(副会長) 吉 田 昇



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げ ます。

日頃より、本会の運営並びに農業農村整備の推進に、格別のご支援とご協力を頂いておりますこと、心より感謝と敬意を表します。

さて、本会の三ツ林会長におかれましては、菅政権発足に伴い、9月18日に内閣府副大臣に就任されました。誠におめでとうございます。

それに伴いまして「国務大臣、副大臣及び大臣政務官規範」により、公益法人の役職員の兼職が出来なくなりましたので、休職の扱いとさせていただき、その間、私が会長の職務を代理させていただきますので、宜しくお願いいたします。

年末に、大変うれしい知らせが入りました。

12月8日に開催された「国際かんがい排水委員会(ICID)」国際執行理事会において、備前渠用水路土地改良区(髙田博之理事長)が申請した「備前渠用水路」が「世界かんがい施設遺産」として登録されました。

備前渠用水路は、利根川中流域から取水し、17世紀初頭から現在まで、埼玉県北部の利根川右岸に位置する約1,400へクタールを超える広大な農地に用水を供給する幹線延長約23kmの用水路です。

用水路のなかった利根川右岸一帯の農業発展及び食料増産を目的とし、幕府の命を受けた代官頭伊奈備前 守忠次が | 年間という短期間で築造しました。

水路の多くは素掘水路のまま利用され、豊かな自然環境が保全されていて、一部区間では水路沿いにコスモスや桜などが植えられ、自然石を用いた親水護岸が整備されています。

令和元年に登録された見沼代用水に続き、県内2番目の登録になります。

ところで、三ツ林会長にご尽力いただいた「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」が、昨年10月1日に施行されました。

決壊時に人的被害の恐れのある「防災重点ため池」を対象に防災工事を進める10年間の時限立法でございます。

県内では、245箇所の「防災重点ため池」があり、今年度までに調査が終了し、来年度から防災工事の 事業が始まります。

さて、農業農村を取り巻く環境は、農業者の減少や高齢化が進み、農地や農業水利施設の保全管理が難 しくなっていることに加え、施設の老朽化、農業のグローバル化など、一段と厳しさを増しています。

この様ななか、国は2年続けて土地改良法を改正し、貴重な地域資源である土地改良施設を適正に管理 し次の世代に引き継いでいくため、準組合員制度の創設や複式簿記の導入など土地改良区の体制強化が図 られることになりました。

複式簿記の導入については、不安を抱いている土地改良区もあるかと思いますが、円滑に移行できるよう、引き続き本会も関係機関と連携し支援をさせていただきます。

令和3年の新春を迎え、三ツ林副大臣の益々のご活躍をご期待申し上げるとともに、本会役職員一丸となって会員の支援に努めてまいりたいと考えておりますので、引続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本県農業農村の発展と、会員並びに関係皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ

~新たな埼玉の歴史に向かって~





明けましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症対策に明け暮れた一年でした。

埼玉県土地改良事業団体連合会会員の皆様には、格別の御理解と御協力をいただきました。改めて心から感謝申し上げます。

現在、感染症防止対策の一つとして、テレワークやキャッシュレス決済といった、接触機会を低減させつつ社会経済活動を継続する取組が広がっています。

この機を捉えて、「働き方改革」や「誰もが活躍できる社会」の実現に挑戦していくため、様々な分野で変革を促すデジタル・トランスフォーメーション(DX)を進めてまいります。

これから埼玉県には本格的な人口減少社会が到来します。このため、「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」を進めることにより、医療・介護需要の増加や働き手の不足などの課題に対する私なりの答えを形にしたいと考えています。

具体的には、生活圏を集約化し、職住近接による子育て環境の向上を図り、AIやIoTを活用し高齢者の見守りを行うなど、効率的で効果的な取組を進めます。このほか、災害に強い技術やエネルギーの強靭化などにより安心・安全を高めることで、人生IOO年時代にふさわしいまちづくりを目指します。

こうした施策をはじめ、県の施策を横断的に貫く一本の柱とも言えるのが「埼玉版SDGsの推進」です。誰一人取り残さない持続可能な「日本一暮らしやすい埼玉県」を実現するためにも、県内の様々な方々に御参加いただきたいと考えています。

農業農村整備の分野においては、一昨年の見沼代用水に続き、昨年末には備前渠用水路が世界かんがい施設遺産に登録されるという喜ばしい出来事がございました。関係者の皆様の御尽力に深く敬意を表する次第です。

また、これらの用水だけでなく、県民のかけがえのない財産である土地改良施設が今後とも大切に維持されることは、埼玉農業の発展に寄与し続けるものと考えています。

県としても、引き続き、農業基盤整備事業に全力で取り組んでまいります。事業を推進する上で、農地 や農業水利施設の管理を担い県土の発展を支えてきた貴連合会の皆様のお力添えが不可欠です。引き続き、 御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、令和3年は、埼玉県が誕生して I 5 0 周年を迎えます。この節目の年に埼玉の魅力を県内外へ、 そして未来へ伝えていきます。

また、本県が誇る偉人の一人、渋沢栄一翁を描いた大河ドラマ「青天を衝(つ)け」が始まります。

そして、いよいよ東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会も開催されます。

今年も、皆様と、干支の丑(うし)にちなんだ、粘り強さと堅実さを兼ね備えた「ワンチーム埼玉」と なって、共に前進してまいりましょう。

新年のごあいさつ

衆議院議員

内閣府副大臣 三ツ林 裕 己 (埼玉県土地改良事業団体連合会長休職中)



明けましておめでとうございます。会員の皆様には輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。 日頃より、本会の運営に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

私は、昨年9月の菅内閣発足に伴い、内閣府副大臣を拝命いたしました。拉致問題、地方創生、少子化 対策、子ども・子育て支援、健康・医療戦略等を担当しております。

なお、「国務大臣、副大臣及び大臣政務官規範」により、公益法人の役職員の兼職が出来なくなりましたので、しばらくの間、本会の職務は休職とさせていただきます。

早速、10月22日に、地方創生担当副大臣として埼玉県庁にて大野知事との意見交換。さいたま市、清水市長と地方創生推進交付金による「まるまるひがしにっぽん」の施設を視察。さらに私の地元、松伏町、吉川市、三郷市へ地方創生推進室を同行して視察。鈴木町長のご案内で「道の駅」構想、三郷市、木津市長のご案内で「江戸川船着場」の視察、意見交換をさせていただきました。

また、II月I0日には、拉致問題担当副大臣として政府と鳥取県主催の「拉致問題を考える国民の集いin米子」に出席致しました。拉致問題は菅内閣の最重要課題です。拉致被害者ご本人もご家族もご高齢となる中、拉致問題の解決には一刻の猶予もありません。菅内閣総理大臣、加藤官房長官のもと、私も、全ての拉致被害者の一日も早い帰国の実現に向けて全力を尽くすことをお誓い致します。

ところで、平成30年西日本豪雨、平成30年北海道胆振(いぶり)東部地震、令和元年東日本台風、令和2年7月豪雨と、我が国を揺るがすような災害が相次いでおります。

そのため、国は「防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策」を来年度から事業規模約15兆 円でスタートします。

この対策は、激甚化する風水害や巨大地震などへの対策、予防保全に向けたインフラ老朽化対策の加速、 デジタル化の推進などを柱として取り組んでまいります。

さて、来年度の農業農村整備関係予算ですが、昨年末閣議決定された政府案では、令和3年度当初予算 4,445億円と令和2年度補正予算1,855億円とを合わせ、6,300億円が確保されました。

これらの予算を有効に活用することにより農地の大区画化・汎用化による生産性の向上や施設の耐震化・長寿命化による安心・安全の確保が一層図られるものと期待しています。

農業は国の基です。本県においても、ほ場整備事業等により担い手の規模拡大が進むとともに、新たな担い手も生まれております。引き続き農業農村整備事業の充実した予算を確保し、生産性の向上、農業所得の増大、農家経営の安定等、豊かさを感じる農業農村の実現に向け邁進してまいりますので、皆様の一層のご支援をお願い申し上げます。

結びに、今年は災害のない穏やかな年となりますよう願うとともに、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。

新年にあたって

全国土地改良事業団体連合会 会長二階俊博



令和3年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年のご祝詞を申し上げます。 昨年は、新型コロナウイルスが世界各国で感染拡大し、新しい生活様式、新しい仕事の仕方が求められる等、これまで経験したことのない一年となりました。

また、7月の豪雨や台風による暴風雨により、全国で多くの被害が発生しました。お亡くなりになられた方々の御冥福を心からお祈り申し上げますとともに、被災された多くの皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。

被災された方々の生活を一刻も早く回復していくためには、被害を受けた農地や農業用施設の復旧・ 復興が第一に重要であり、日頃から土地改良に携わる皆様方には、全国各地で復旧・復興の先頭に立っ ていただいていることについて、心から敬意を表します。

全国で32カ所のため池が決壊した「平成30年7月豪雨」を契機として、全国のため池の関係者の方々から、ため池の防災工事を推進するための財政的・技術的な支援を求める声が高まり、昨年6月、ため池に関する特別措置法が議員立法として成立致しました。この議員立法の成立には、多くの国会議員の皆様の御尽力を頂きましたが、中でも進藤金日子・宮崎雅夫両参議院議員には、法案の検討段階から中心となって御活躍頂きました。土地改良関係者が一丸となって、全力で対応した結果であったと思います。心から厚く御礼を申し上げます。

さて私は、本会の会長に就任して以来、「闘う土地改良」を掲げて参りました。そして組織一丸となって闘った結果、補正予算などを含めまして、大幅削減前を大幅に上回る予算を確保することが出来ました。令和3年度予算につきましては、農業農村整備の着実な推進を求める全国の皆様からの熱意ある要請活動により、政府予算案においては、4,445億円を確保することができました。さらに、令和2年度の補正予算を含めると6,300億円となります。また、防災・減災の為の国土強靱化対策が延長され、新たな5ヶ年加速化対策として、15兆円が予算化されることとなりました。

皆さまの活動に深く敬意を表しますと共に、心から御礼を申し上げます。

いま、全国の農業農村では、過疎化・高齢化、担い手不足に加え、地域活力の低下などの課題が山積しております。また、コメなどを巡る先行き不安から、状況が一段と厳しくなっております。一方で、全国で農業水利施設の老朽化が進行しており、食料生産の増大、非食料用米への転換に支障を来すばかりでなく、国民の生命や財産にも多大な損害をもたらすのではないかと危惧されております。

また、近年、自然災害が大規模化、多発化する傾向にあり、農地・農業用施設でも大変大きな被害が 続いています。

これらの農業農村の危機的な事態に鑑み、昨年3月に新しい「食料・農業・農村基本計画」が閣議決定され、農業者はもとより国民の皆様方に農業・農村の現状、課題を理解いただき、食糧供給や国土保全などの多面的な役割を果たす農業・農村は「国の礎」との認識を分かち合い、国民全体で農業、農村を次の世代につないでいくこととされました。

私たち土地改良担当者としましては、これら政府の動きと軌を一にして、これまで培ってきた技術と蓄積された経験を活用し、「闘う土地改良」を活動の基本におきつつ積極的に貢献していくことが重要であると考えており、加えて、水土里ネットが農業農村を守り、発展させていくことの重要性について広く国民の皆様にアピールし、共感を得ていく努力が必要と考えます。皆様と一体となって取り組み、所期の成果が得られますよう、引き続き奮闘して参りたいと思います。

最後になりますが、本日、輝かしい年の初めに当たり、本年も農業農村が活力を得て、一層発展しますようご期待申し上げますとともに、新型コロナウイルスの不安が払拭され、本年が全国の皆様にとってよき年であり、日々健やかに過ごされますようご祈念申し上げまして、私の新年のご挨拶といたします。

新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問

しんどう かねひこ 参議院議員 進 藤 金日子



明けましておめでとうございます。埼玉県の皆様には、昨年の「進藤金日子と農山漁村を考える会」 等の政経セミナーへのご協力をはじめ、日頃から大変お世話になり、新年を迎えるに当たり衷心より感 謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症に翻弄された一年でした。昨年、新年を迎えた時には、まさかこのような事態に陥るとは誰もが想像だにしていなかったと思います。まずは、このコロナ禍を国民一体となって乗り越え、克服することが最重要課題です。

さて、令和2年度第3次補正予算と令和3年度予算の政府案が閣議決定されました。まずは、3か年緊急対策に引き続き「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」が事業規模 | 5兆円程度で実施されることになりました。土地改良予算に関しては、令和3年度に執行可能な予算として全国各地域の要請に基づき、補正と当初を合わせて6,300億円確保できました。令和2年度第3次補正予算は | 1,855億円であり、「総合的なTPP等関連政策大綱」に基づく施策の実施関連で700億円、防災・減災、国土強靭化と災害復旧の推進関連で1,155億円計上されています。また、令和3年度予算は4,445億円であり、食料安全保障の確立と国土保全等を図ることが明確化され、収益性・防災性の向上に資する農地の大区画化、水田の畑地化・汎用化、農業水利施設の維持・保全等を実施する土地改良事業を重点的に推進することとしています。また、防災・減災、国土強靭化の推進に関連して、激甚化する災害に備えるため、ため池や農業水利施設の整備を推進することとしています。更にポストコロナを見据えた農村の定住条件を整備する農村整備事業も盛り込まれています。これら予算案については、通常国会で審議されますが、まずは令和2年度第3次補正予算の早期成立に向けて全力を尽くし、令和3年度予算の年度内成立に向けて努力して参る所存です。

昨年は、宮崎雅夫参議院議員と連携して一定の成果を出すことが出来ました。「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」の議員立法による制定、自民党農村基盤整備議員連盟(二階俊博会長)として「農業農村の振興を先導する土地改良」(全国事例集)の発刊できたこと、自民党女性局機関誌の「りぶる」での土地改良特集の実施などが挙げられます。加えて、土地改良関係者をはじめ多くの方々から様々なご意見をお聴きし、こうした声を国会質問に反映したり、自民党部会等で発言したり、農水省に直接伝えることなどにより、課題解決の一助となった例も多くなってきました。引き続き緊張感を持って農業・農村の振興に向け、しっかりと活動を進めて参る所存です。

埼玉県の皆様にとって本年が素晴らしい年でありますよう祈念いたしますとともに、更なるご指導と ご支援をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。

新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員 宮 崎 まさお



明けましておめでとうございます。埼玉県の土地改良関係の皆さまに謹んで初春のお慶びを申し上げます。

皆さま方には、平素より土地改良の推進、農業農村の活性化にご尽力いただいておりますことに敬意を表しますとともに、私の国政活動に甚大なるご支援を賜り心より感謝申し上げます。また、昨年は全国的に新型コロナウィルス感染症や豪雨災害など、例年にも増して厳しい状況に見舞われましたが、影響や被害等に遭われた方々に衷心よりお見舞い申し上げますとともに、速やかな回復や復旧に向け私も最大限の努力をしてまいる所存です。

さて、昨年の通常国会では、近年の頻発化、激甚化する自然災害対策への全国各地からのご要望を踏まえ、進藤金日子参議院議員と取り組んだ議員立法「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」の成立により新たな法的枠組みをつくることができました。これを受けてII月には農林水産大臣、総務大臣、防災担当大臣による三大臣会合が持たれ、地方財政措置の拡充など事業推進に向けた対応が進められています。

また、皆さまが特にご関心の、防災・減災、国土強靭化対策については、現行の3カ年緊急対策に続き令和7年度までの5カ年加速化対策として、激甚化する風水害等対策、予防保全に向けた老朽化対策、国土強靱化対策のデジタル化など、取組のさらなる加速化、深化を図ることとしており、防災重点農業用ため池や農業水利施設等の老朽化対策、予防保全が加速化されることとなります。

農業農村整備関係予算については、皆さま方のご尽力をいただきながら、総額6,300億円(当初4,445億円、補正:国土強靭化加速化対策 I,I55億円、TPP対策700億円)を確保することができました。I月に開会される通常国会では、これら予算ならびに関連法案の早期成立に向け、引き続き努力して参る所存です。

また、コロナ禍の中で生まれつつある都市から農村への人の流れをとらえ、農村インフラの持続性確保や情報通信環境整備などにもしっかりと取り組んでいかなければなりません。さらに、多くの食料を海外に依存している我が国にとって食料安全保障は重要な課題であり、食糧自給率向上に向けた取組と併せて生産性の高い農地や農業水利施設を次世代にしっかりと引き継いでいかなければなりません。これからも進藤金日子議員とともに、農業農村を守り発展させていくため、土地改良の計画的な推進と予算の安定的確保に向け、皆さま方からご指導をいただきながら努力してまいります。

結びに、埼玉県の皆さまのご健勝とご多幸を心より祈念するとともに、本年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げ新年の挨拶といたします。



世界かんがい施設遺産「備前渠用水路」

埼玉県で2施設目の登録

令和2年12月8日(火)国際かんがい排水委員会(ICID)がWebで開催した国際執行理事会において「備前渠用水路」が(世界かんがい施設遺産)として登録された。

登録は2014年から始まり、現在国内では42施設が登録されており、県内では見沼代用水に続いて2施設目の登録となる。

~400年の歴史を持ち当時の面影を残す埼玉県で最古級の農業用水路~

備前渠用水路は日本最大の流域面積を持つ利根川の中流域から取水し、17世紀初頭から現在まで埼玉県北部の利根川右岸一体約1,400haの広大な農地へ用水を供給している幹線延長23kmの用水路である。本地域では用水路が出来るまでは、天水、湧水、ため池等を利用した米作りで、農業経営は大変不安定なものであったが、1604年に幕府の命を受けた、代官頭伊奈備前守忠次(以下;伊奈氏)により1年間という短期間で開削された埼玉県で最古級の大規模な用水路である。伊奈氏の官名にちなみ古くから「備前堀」という愛称で親しまれている。

伊奈氏は利根川の支川である烏川の水量、地形を踏査した後、水源として取水口を設け用水路を 開削した。

この時、小山川の河道を一部利用し流水を貯留する溜井方式の矢島堰を設け、本線ならびに支線用水路へ配水するなど、のちに「関東流(伊奈流)」と呼ばれる水利技術が用いられた。用水路のなかった利根川右岸一帯を潤し農家の経済状況の改善に加えて農業発展と食料増産に大きく貢献した。

また、末流の一部は中川水系の最上流に位置する北河原用水や羽生領用水につながり、中川水系と強く結びついて、山地水源を持たない埼玉県南東部地域の水田の貴重な水源としても寄与している。

さらに、現在でも開削当時の面影を残す素掘水路の区間が多く、当時の姿を今に伝える貴重な 用水路として、地下水の涵養、農村景観の維持、生態系の保全、洪水の防止など多面的な機能を 有している。

なお、2006年には、長い歴史や優れた景観を誇る流水として農林水産省の「疎水百選」に登録され、2009年には一部区間で自然石を用いた親水護岸等の整備を契機に、地域住民による「灯篭流し」が復活した。

学校教育の面では、 地域の重要な施設として小学校社会科の副読本で備前渠用水路及び伊奈 氏の偉業について紹介し、未来の世代への啓発を図っている。

備前渠用水(令和2年12月8日現在)

受益地域 埼玉県本庄市・深谷市・熊谷市

供用開始年 1604年

施設管理者 備前渠用水路土地改良区 理事長 髙田 博之

問い合わせ先 熊谷市弥藤吾2450番地 TEL 048-567-3115



備前堀鳥瞰図(1831年)



開削時の面影を今に伝える素掘水路区間

埼玉県知事への要望活動

本会では去る11月12日、県内8つの土地改良推進協議会長の連名で、大野元裕知事に予算要望活動を 実施した。本会からは、吉田昇会長職務代理者副会長(滑川町長)、正能輝夫副会長(見沼代用水土地改 良区理事長)、大図早孝常務理事、細井清隆事務局長が県庁を訪れ、大野知事ほか、砂川裕紀、橋本雅道 両副知事、強瀬道男農林部長、稲場康仁農村整備課長へ下記4項目の要望書を手渡した。

重点要望事項の説明に対して、大野知事から「『災害に強い安心安全の埼玉』、『儲かる農林水産業の推進』は私の公約であり、その達成のためにも農業施設の計画的な補修・更新、低コスト生産や高収益作物の導入を推進するほ場の大区画化が必要である。また、自然災害に備えるため、防災・減災の観点から防災重点ため池の対策も重要である。」と理解を示し、「しっかりと計画的に取り組んでいきたい」と結んだ。

重点要望事項

1 大区画ほ場整備の推進

農業の競争力強化の実現のため、担い手への農地集積・集約化、米の生産コストの低減及び野菜等の高収益作物導入を促す水田の大区画化、汎用化を推進すること。

2 農業水利施設の計画的な更新

農業水利施設の多くは、高度経済成長期に整備され、造成後40年以上が経過した施設が約4割を占め、老朽化が進んでいる。

これらの施設の機能を維持・発揮に必要な補修・更新を、計画的かつ着実に推進すること。

3 農業用ため池の防災、減災対策の推進

県内のため池470箇所の内、防災重点ため池が245箇所ある。

令和 2 年度末までに、市町村がこれらの耐震、豪雨調査を進めているが、対策が必要な施設が多数になっている。

国は、「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」により、今後10年間で計画的に調査設計、工事の実施を目標としている。

防災重点ため池の補修、更新を、計画的かつ着実に推進すること。

4 農業集落排水施設の更新

県内の農業集落排水施設134か所のうち、供用開始後20年が経過した施設の補修・更新を順次進めているが、令和元年度末現在で未実施の施設は42施設ある。

農村における生活環境維持のため、施設の補修・更新を計画的かつ着実に推進すること。



大野知事への要望



意見交換の様子

農業農村整備の集い

"農を守り、地方を創る予算の確保に向けて"をテーマにした、全国水土里ネット、都道府県水土里ネットの主催による「農業農村整備の集い」が去る11月20日、シェーンバッハ・サボー(東京都千代田区)において開催され、コロナ禍の中、国会議員を含め約500名の土地改良関係者が駆けつけた。

本会合には、野上浩太朗農林水産大臣、葉梨康弘農林水産副大臣をはじめ、牧元幸司農村振興局長、奥田透農村振興局次長など農林水産省幹部が出席した。

はじめに、主催者である二階俊博全国水土里ネット会長より、挨拶があり、「土地改良が現状のままで満足せず、更なる前進、高みを目指していくためには『闘って行く』ことが重要である」と強調し挨拶された。

その後、自民党の佐藤勉総務会長、森山裕国会対策委員長、塩谷立農林・食料戦略調査会長、野上 浩太朗農林水産大臣、西川公也内閣官房参与、進藤金日子参議院議員・都道府県水土里ネット会長会議 顧問、宮崎雅夫参議院議員・都道府県水土里ネット会長会議顧問の順に祝辞が述べられ、挨拶された。

続いて行われた事例発表では、水土里ネット女性の会・萩原丈巳会長(水土里ネットやまなし)から水土里ネット女性の会の設立状況と活動方針を報告、今後も土地改良分野における女性の活躍を推進していこうと訴えた。

最後に、土地改良関係予算の確保や、大規模災害からの復旧・復興を記した下記要請文が満場一致で 採択され、令和3年の全国土地改良大会開催県である水土里ネット群馬、熊川栄会長のガンバロウの 発声後大きな拍手で閉会となった。

大会終了後、本県参加者は、本県選出の国会議員に要請活動を行った。



全国水土里ネット 二階会長挨拶



野上農林水産大臣

◆12の要請事項◆

- 農林水産業は国の基であり、土地改良はその根幹を成すものである。土地改良事業の計画的・安定的な推進のため、令和三年度当初予算について、現場のニーズに応えられるよう、必要な予算を確保すること。また、令和二年度補正予算についても、十分な予算措置を講じること。
- 二 大規模災害からの復旧・復興を早急に進めること。その際、原形復旧に止まらず、再度 災害防止の措置を講じること。
- 三 農業の競争力強化のため、高収益作物の導入、農地集積・集約化を促す農地の大区画化・ 汎用化と水田の畑地化を一層推進すること。
- 四 農村地域の国土強靭化のため、老朽化した農業水利施設の長寿命化、豪雨・耐震化対策等を一層推進すること。

特に、令和三年度以降の国土強靱化対策については、これまでの三か年緊急対策の内容の拡充を図り、中長期的かつ明確な見通しのもと、令和三年度からの五か年の計画とし、別枠で大幅な当初予算規模の拡充を図ること。

- 五 改正土地改良法の適切な運用を図るため、その普及啓発に努めること。また、複式簿記の 導入など土地改良区の運営基盤の強化に対する支援を、土地改良区の声に真摯に耳を傾け て推進すること。
- 六 豪雨災害の頻発・激甚化、農業用ダムの洪水調節機能の強化、農業構造や営農形態の変化に適切に対応できるよう、農業水利施設の維持管理に関する支援を強化すること。
- 七 「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」及び「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」に基づき、技術的、財政的支援とともに十分な地方財政措置を講じ、農業用ため池の防災対策をソフト・ハード両面にわたって強力に推進すること。
- 八 ため池の決壊や排水施設の溢水等により、住民の生命・財産への被害が生じていることに 鑑み、令和二年度に創設された緊急浚渫推進事業の対象に防災重点農業用ため池や基幹的 な農業水利施設を追加すること。
- 九 農業用ダムの洪水調節機能の強化に当たっては、ダム管理者及び関係利水者の過度な負担とならない取組とするとともに、必要な支援措置を講じること。
- 十 多面的機能支払制度による農地や水路、農道等の共同活動等を推進するため、十分な予算の確保とともに運営体制の強化を図ること。また、取組を一層発展されるため、水土里ネットが有する技術、経験など持てる能力を十分活用できる支援措置を講じること。
- 十一 少子高齢化・人口減少により集落の衰退が現実のものとなりつつあり、また、生活インフラは老朽化し自然災害にも脆弱な状況にある。一方で、新型コロナウイルス感染症の教訓により、農村居住やリモートワーク、農泊といった農村の価値が改めて高く評価されている。

これらを踏まえ、農村における生活環境の維持・向上を図るとともに、都市・農村の交流・関係人口の増大を図るため、集落排水施設、農道・集落道や情報通信環境といった農村インフラの整備・統廃合や長寿命化・強靱化を推進すること。

十二 新型コロナウイルス感染症が再拡大するリスクに備えて、必要に応じ、農業水利施設の 維持管理に関するセーフティーネットを構築すること。

令和3年度 農林水産予算概算決定の概要

令和3年度予算の政府案が昨年12月21日(月)に閣議決定された。

農林水産予算総額は別表のとおり2兆3、050億円(対前年比99、7%)を計上。このうち農業農村 整備事業概算決定額は、3、333億円(対前年比102.1%)となっている。

総 括 表

令和3年度 農林水産関係予算の骨子

区 分	2 年 度 予 算 額	3 年 度 概 算 決 定 額
農林水産 予算額 (対前年度比)	億円 23,109 -	億円 23,050 99,7%
1. 公 共 事 業 費 (対前年度比)	6,989 -	6,995 100.1%
一般 公共事業 費(対前年度比)災害復旧等	6,793 -	6,797 100.1%
事業費	196 -	198 101.2%
2. 非公共事業費	16,120 -	16,055 99.6%

2 追	年度	3 加	次	補	正 額
	10	,5	19)	億円
		,5			
		,0 .4.			
	5	,9	71		

- (注) 1. 金額は関係ベース。 2. 計数整理の結果、異動を生じることがある。 3. 計数は、四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。

公共事業費一覧

区 分	2 年 度 予 算 額	3 年 度 概 算 決 定 額
農業農村整備	^{億円} 3,264	億円 3,333 102.1%
林野公共	1,830	1,868 102.1%
治 山 (対前年度比)	607	619 102.1%
森林整備 (対前年度比)	1,223	1,248 102.1%
水産基盤整備	711	726 102.1%
海岸(対前年度比)	45	63 140.1%
農山漁村地域整備交付金	943	807 85.6%
一般公共事業費計 (対前年度比)	6,793	6,797 100.1%
災害復旧等	196	198 101.2%
公共事業費計	6,989	6,995 100.1%

_		. —
	年度3次補	
追	加	額
	1,855	億円
	957	
	461	
	496	
	280	
	7	
	_	
	3,099	
	1,449	
	4,549	

- (注) 1. 金額は、関係ベース。2年度予算額は「臨時・特別の措置」を除いた金額。
 2. 計数整理の結果、異動を生じることがある。
 3. 計数は、四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。
 4. 農業農村整備事業関係予算は、6,300億円。
 ・農業農村整備事業 3,333億円
 ・農山漁村地域整備交付金のうち農業農村整備分 595億円
 ・非公共の農業農村整備関連事業 518億円
 (農地耕作条件改善事業、農業水路等長寿命化・防災減災事業、農山漁村振興交付金)。2年度3次補正額(農業農村整備事業) 1,855億円

令和2年度 第3回監事会

本会は11月5日(木)に令和2年度第3回監事会を開催した。次の議事について審議し、それぞれ 全て原案通り可決された。

【議事】

議案第1号 令和元年度収支計算書の訂正について

議案第2号 令和2年度収支補正予算(案)の承認について

議案第3号 令和2年度受託契約に係る当会理事との自己契約について

議案第4号 代表監事の互選について

なお、議案第4号については、竹内昭一氏(新堀土地改良区理事長)が代表監事に就任された。



監事会の様子

令和2年度 第2回理事会

本会は11月9日(月)に令和2年度第2回理事会を開催した。次の議事について審議し、それぞれ 全て原案通り可決された。

【議事】

議案第1号 令和元年度収支計算書の訂正について

議案第2号 令和2年度収支補正予算(案)の承認について

議案第3号 埼玉県土地改良事業団体連合会文書処理規程の一部改正について

議案第4号 埼玉県土地改良事業団体連合会印章管理規程の一部改正について

(報告事項) 今後の会議開催予定、令和2年度収支状況について



理事会の様子

令和2年度 土地改良施設の診断・管理指導結果の概要

土地改良区体制強化事業 施設・財務管理強化対策において実施した「令和2年度土地改良施設の診断・管理指導」について、本年度は定期診断・要請診断を合わせ延べ56地区、156施設の診断を行った。





<診断実施期間>

定期診断:令和2年7月~10月

要請診断:令和2年7月~8月(緊急に要請診断が必要な場合等は期間外も実施)

<診断対象施設>

基幹的な土地改良施設で、農業用施設機能を有するおおむね以下の施設。

種目	ダム	頭首工	用排水機	樋(水)門	ため池	その他	水路
受益面積			20ha以上				

②定期診断指導

県内の基幹的土地改良施設を対象(下表)に、竣工年度や過去の整備補修年度等から勘案し、 当会で選定した施設の診断指導を実施するもの。(10年サイクル計画)

【 定期診断対象地区及び施設数 】 (H29年度土地改良施設調査より)

区分	土地改良区・市町村数				土地改良施設数						
	改良区	市町村	計	ダム	頭首工	用排水機	樋(水)門	ため池	水路	その他	計
埼玉県全体	76	30	106	-	23	876	487	-	-	-	1,386
うち令和2年度 診断対象	28	9	37	-	1	55	33	-	-	-	89

※ その他:水管理施設、除塵機など

②要請診断指導

当年度定期診断指導施設以外の施設で、土地改良区等から要請のあった場合に実施するもの。

【 令和2年度 診断実施施設 】

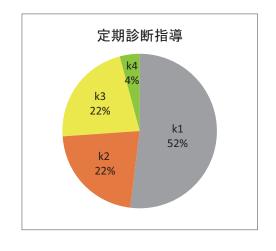
(R2.12.25時点)

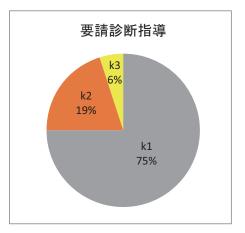
区分	土地改		町村数 ^{〔重複有り}	土地改良施設数								指導 延日
	改良区	市町村	計	ダム	頭首工	用排水機	樋水門	ため池	水路	その他	計	数
定 期 診断指導	11	3	14	-	0	17	10	-	-	_	27	
要 請 診断指導	30	12	42	0	5	53	37	ı	30	4	129	46
計	41	15	56	0	5	70	47	0	30	4	156	

【令和2年度 診断結果】

総合評価	k1	k2	k3	k4	計
定期診断指導	14	6	6	1	27
要請診断指導	97	25	7	0	129
計	111	31	13	1	156







緊急度 重大 (k1)	機能低下が著しく、早急に整備補修を要するもの
緊急度 大 (k2)	機能低下が見られ、整備補修の検討を要するもの
緊急度 中 (k3)	経年的な機能低下傾向にあり、計画的な整備補修の検討を要するもの
緊急度 小 (k4)	運用上支障はないが機能低下の兆候も出てきており、経過の観察を要するもの

本年度診断施設の適正化事業への加入計画予定状況 (R3加入 第45期生に限る)

定期診断 (施設) 27 施設中、 5 施設 (19%)

要請診断 (施設) 128 施設中、 44 施設 (34%) **R2.12.25時点

令和2年度 埼玉県多面的機能支援推進会議研修会

今年度は、新型コロナウイルスの影響により、県全域での研修会を中止し、県内を5つのブロックに分けて開催することとし、令和2年11月に下記3ブロックで開催された。

① 川越・東松山地域	11月13日(金) 東松山市民文化センター 参加者102名 (14市町村、39活動組織)
② 埼葛地域	11月19日(木) 白岡市生涯学習センター 参加者 76名 (6市町、30活動組織)
③ ほくさい地域	11月25日(水) パストラルかぞ 参加者 66名 (1市、32活動組織)

はじめに各開催地の地域部会会長である東松山農林振興センター黒澤所長、春日部農林振興センター 林所長、加須農林振興センター横田所長から挨拶があった後、次の事項について研修が行われた。

第一部『刈払機の安全使用について』

講 師:埼玉県農業大学校 管理·研修部研修·就農支援担当

担当課長 堀口 和夫 氏

内 容: 刈払機の正しい使い方、管理の仕方等について

第二部『多面的機能支払交付金の事務作業について』

講師:埼玉県土地改良事業団体連合会総務部部長近藤慶一

内 容:活動組織が事務を行う上での留意点等

第三部『優良事例発表』

① 川越・東松山地域 伊佐沼周辺田園環境保全組合 (川越市)

第4ポンプ場多面的機能組合(小川町)

② 埼葛地域 二本木農地管理組合 (杉戸町)

令和2年度の制度改正により新たに追加指定された「機械の安全使用に関する研修」を含む、上記3講演により充実した内容で行われた。

アンケート結果では、参加者の93%が「参考になった」という回答を得ることができた。今後も研修会等を通して先進事例や事業情報をお伝えしていく予定である。











研修会の様子

第8回 彩の国農業・農村景観フォトコンテスト

テーマ ~次世代に遺したい埼玉の水土里~

本会では、さいたま・川越・東松山・秩父・本庄・大里・加須・春日部の各土地改良推進協議会の共催で、第8回「彩の国農業農村景観フォトコンテスト」が開催された。埼玉県内の豊かな自然環境や美しい農村環境、農業の魅力を広く一般の方々に紹介し、関心を高めていただくために、「次世代に遺したい 埼玉の水土里」をテーマに募集したところ、県内をはじめ多くの方々から全395点のご応募をいただいた。



吉田審査委員長

写真家の吉田功氏をはじめ、18名の審査委員による厳正な審査が執り行われ、水土里ネットさいたま会長賞、各土地改良推進協議会会長賞、学生優秀賞のほか、入選10作品が決定した。





審査の様子

表彰式は令和2年12月18日(金)本会大会議室において開催され、吉田審査委員長より講評をいただき、受賞者の方々には表彰状と記念品が授与された。

なお、令和3年1月8日(金)~11日(月)の4日間、八木橋百貨店8階「オープンギャラリー 熊谷」にてご応募いただいた作品を展示し、写真展には多くの方々にご来場いただいた。



受賞者の皆様



写真展の様子

受 賞 作 品

|田植実習|

撮影:田中 幸男 場所

小[(

]]] 町





さいたま土地改良推進協議会会長賞 「たんぼ道」 撮影:又賀 義信 場所:さいたま市



川越土地改良推進協議会会長賞 「奉納まつり」 撮影:石川 昌江 場所:飯能市



入 選「生長の日々」 撮影:小川 啓二 場所:坂戸市



入 選「ホタル舞う頃」 撮影:大谷木 春男 場所:毛呂山町



加須土地改良推進協議会会長賞 「刈り取りを終えて」 撮影:清水 忠良 場所:行田市



入 選「春を待つ」 撮影: 吉村 邦男 場所: 日高市



入 選「神輿渡御」 撮影:大竹 紀公子 場所:ときがわ町



東松山土地改良推進協議会会長賞 「里山の春」 撮影:佐藤 知幸 場所:東秩父村



本庄土地改良推進協議会会長賞 「夕暮れの畑」 撮影:分須 洋子 場所:美里町



春日部土地改良推進協議会会長賞 「夏の虫送り」 撮影:早野 由香 場所:越谷市



秩父土地改良推進協議会会長賞 「一番茶」 撮影:町田 正雄 場所:横瀬町



大里土地改良推進協議会会長賞 「防風林」 撮影:武内 道直 場所:深谷市



学生優秀賞 「山と桜」 撮影:能見 柚里 場所:滑川町



入 選「田植の前」 撮影:野口 仲一 場所:さいたま市



入 選「笑顔が響く(ニンニク畑)」 撮影:宮前 進一 場所:横瀬町



入 選「明日に託して」 撮影:神保 八重子 場所:坂戸市



入 選「準備万端」 撮影:大澤 三男 場所:小川町



入 選「二人きりの田植時」 撮影:清水 洋 場所:熊谷市



入 選「次の役目へ出番待ち」 撮影:中島 寛人 場所:美里町

お知らせ

◆土地改良区理事、監事、職員並びに市町村担当職員等 研修会の中止について

各土地改良推進協議会(さいたま、川越、東松山、秩父、本庄、大里、加須、春日部)合同で開催しています標記研修会は、実施に向け準備を進めてまいりましたが、緊急事態宣言の発令を受け、検討を重ねた結果、中止とさせていただくこととなりました。誠に申し訳ありませんが、ご了承下さいますようお願い申しあげます。

お問合せ先 水土里ネットさいたま 総務部地域支援課 TEL 048-530-7352

「さいたま中央土地改良区」が設立されました

設立認可日 令和2年12月23日(水)

場 所 さいたま市見沼区大字膝子623 (膝子八幡会館内)

連絡先 TEL 048-872-7958 FAX 048-872-7968

農業基盤整備資金の金利改定について

令和3年1月19日付けの株式会社日本政策金融公庫の農業基盤整備資金の金利改定について、 下記のとおりお知らせいたします。 (単位:%)

		改	訂	前			改	訂	後	
区分	融資期間に	融	資期間別	別(一例)		融資期間に	融資期間別(一例)			
	かかわらず	5年	10年	15年	20年	かかわらず	5年	10年	15年	20年
都道府県営補助残	0.35	_	_	_	_	0.35	_	_	_	_
団体営補助残	0.20	_	_	_	_	0.20	_	_	_	_
非補助一般	0.20	_	_	_	_	0.20	_	_	_	_
非補助利子軽減	0.20	_	_	_	_	0.20	_	_	_	_
災害復旧	_	0.16	0.16	0.20	0.20	_	0.16	0.16	0.20	0.20

お問合せ先 水土里ネットさいたま 事業部農村整備課 加藤 TEL 048-530-7348

当会における新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当会では職員に対し、以下の対応を行っております。

- ・体調管理の励行 (検温、自覚症状)
- ・アルコール消毒(室内、会議室、公用車)
- ・マスクの着用
- ・室内の換気、加湿器の設置
- ・ソーシャルディスタンスの確保(間仕切りの設置、座席レイアウトの変更)

来館される方につきましても、マスク着用のうえ、入館時のアルコール消毒と来訪者記録表へのご記入をお願いいたします。なお、発熱(37.5℃)・咳・全身痛などの症状が見られる方につきましては、入館をご遠慮ください。





来訪者記録表

間仕切りの設置

皆様の健康と安全確保のため、ご理解・ご協力いただけますようお願い申しあげます。

連合会日誌

開	催日	会議・行事	開	催	地
10月	23⊟	複式簿記導入促進特別研修会	さし	いたき	ま市
	5 日	本会第3回監事会	熊	谷	市
	9日	本会第2回理事会	熊	谷	市
11月	12⊟	関東ブロック秋季総会(書面)			
	18⊟	埼玉県知事への要望活動	東	京	都
	20⊟	農業農村整備の集い	さし	nた a	ま市

水土里ネットさいたま

裕

2

SEP

春

令和三年 元旦

																					V
農		春		加		大		本		秩		東		Ш		2	農	食	農	農	農
村		日		須		里		庄		父		松		越		7.					
整	"	部	"	農	"	農	"	農	"	農	"	山	"	農	"	たま	村	品	林	林	
備	,	農		林		林		林		林		農		林		農					++
計		林		振		振		振		振		林		振		林	整	安	部	部	林
画	副	振興	副	興	副	興		興		興		振興		興		振					
セ	副所長兼農村	サセ	副所長兼	セ	所長兼	セ		セ		セ		サセ		セ		興	備	全	副	副	
ン	兼	ン	兼	ン	兼	ン		ン		ン		ン		ン		セン	LIIA		Ш3	ша	部
タ	農村	タ	農村	タ	農村	タ	農村	タ	農村	タ	農村	タ	農村	タ	農村	タ	課	局	部	部	
	整備部	1	整備部		農村整備部	1	村整備	1	農村整備部	-	整	1	整備部		整備部	1	巾木	/FJ	미	口口	
所		所		所		所	備部	所	部	所	備部	所	部	所		所					
長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長
細	吉	林	木	横	加	山	宮	Ш	沼	石	井	黒	勝	岡	大	須	稲	根	小	野	強
Ш	田		村	田	藤	岸	崎	岸	尻	石間戸	£	澤	俣		大河戸	永	場	岸	畑		瀬
学	有	淳	眞	=	和	典		正	文	芳	幸	史		眞	輝	真	康	章		典	道
範	有紀彦	-	司	也	彦	夫	守	人	明	朗	人	明	孝	司	夫	真理子	仁	Ξ	幹	孝	男

同	同	連合会	監事	代表監事	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	理事	常務理事	副会長	副会長職務代理者	会休職中長	
事	総	事	美	新堀土	春日	元荒川上	加	深	熊	本	秩	東松	荒川右岸四	Л	馬宮土	学識	見沼代用	滑	衆議院	
業	務	務	里	地改良	部	流	須	谷	谷	庄	父	山	水土地	越	地改良	経	水土地	Л	員内	
部	部	局	町	区理事	#	良区理事	市	TT TT	TT TT	市	市	市	改良区理事	市	区理事	験	良区理事	町	府副大	
長	長	長	長	長	長	美	長	長	聂	長	長	長	長	長	長	者	長	長	臣	
齊	近	細	原	竹	石	岩	太	1/1	富	吉	久	森	内	Ш	星	大	正	吉	=	
藤	藤	井	田	内	Ш	田	橋	島	岡	田	喜	田	田	合	野	図	能	田	林	
	事業部長齊	事 業 部 長 齊	合会事 業 部 長 海 合会事 務 局 長 細	合会事 業 部 長 四 合会事 務 部 長 四 長 四 長 四	表監事 新堀土地改良区理事長 竹 合会 事 務 局 長 個 長 個 長 個 長 個 長 個 大 0 0 0 0 0 0 0 0	表監事 新堀土地改良区理事長 竹 合会事 第 田 町 長 位 6合会事 第 田 町 長 位 長 四 長 四 長 位 6 0	表監事 新堀土地改良区理事長 行 市 美 里 町 長 石 合会 事 人 0	表監事 新堀土地改良区理事長 行 市 長 石 市 長 石 市 長 石 合会 事 水 市 長 万 市 長 万 市 長 万 市 長 万 市 長 万 市 長 万 市 長 万 市 長 万 市 長 万 市 長 万 市 長 万 市 長 万 市 長 万 市 長 万 市 長 万 市 長 万 市 長 万 市 長 万 市 日 日 市 長 万 市 日 日 日 市 日 日 日 日 市 日 日 日	表監事 新堀土地改良区理事長 方荒川上流土地改良区理事長 方 市 長 万荒川上流土地改良区理事長 竹 市 長 万 市 日 市 日 市 長 万 日 市 日 市 日 日 <th> 表監事 新堀土地改良区理事長 竹合会 事 務 局 長 短 原 市 長 万</th> <th> 本 表 事 等 者 日 部 日 部 市 長 日 部 市 長 日 部 市 長 石 五 五</th> <th> 表監事 新堀土地改良区理事長 宿 合会 事 務 目 部 長 宮 合会 事 務 目 部 長 2 方荒川上流土地改良区理事長 6 方法川上流土地改良区理事長 7 長 1 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (9) (10) (10)<</th> <th>表監事 新堀土地改良区理事長 6 6 7 6 <</th> <th> 売品石岸用排水土地改良区理事長 内 大会 事</th> <th> 書 事 者 方 方</th> <th> 事 に こと地 改良区理事長</th> <th>事 学 識 経 験 者 大</th> <th>事 見沼代用水土地改良区理事長 正 事 房沼代用水土地改良区理事長 大 事 房沼代用水土地改良区理事長 大 事 房沼代用水土地改良区理事長 大 事 新堀土地改良区理事長 内 会 事 所 長 内 会 事 所 長 内 会 事 所 長 内 会 事 所 長 内 会 事 所 長 内 会 事 所 長 内 会 事 人 大 内 会 事 長 内 会 事 人 大 会 事 人 大 会 事 長 内 会 方 人 大 会 方 人 大 会 方 人 大 会 方 人 大 会 方 大 力 会 方 力 力 会</th> <th>事 月沼代用水土地改良区理事長 古 事 月沼代用水土地改良区理事長 大 事 月沼代用水土地改良区理事長 大 期 日 市 長 大 期 日 市 長 九 点 市 長 内 大 市 長 内 内 日 方 市 長 内 方 方 方 市 長 方 方 方 方 方 市 長 方<th>事 第</th></th>	 表監事 新堀土地改良区理事長 竹合会 事 務 局 長 短 原 市 長 万	 本 表 事 等 者 日 部 日 部 市 長 日 部 市 長 日 部 市 長 石 五 五	 表監事 新堀土地改良区理事長 宿 合会 事 務 目 部 長 宮 合会 事 務 目 部 長 2 方荒川上流土地改良区理事長 6 方法川上流土地改良区理事長 7 長 1 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (9) (10) (10)<	表監事 新堀土地改良区理事長 6 6 7 6 <	 売品石岸用排水土地改良区理事長 内 大会 事	 書 事 者 方 方	 事 に こと地 改良区理事長	事 学 識 経 験 者 大	事 見沼代用水土地改良区理事長 正 事 房沼代用水土地改良区理事長 大 事 房沼代用水土地改良区理事長 大 事 房沼代用水土地改良区理事長 大 事 新堀土地改良区理事長 内 会 事 所 長 内 会 事 所 長 内 会 事 所 長 内 会 事 所 長 内 会 事 所 長 内 会 事 所 長 内 会 事 人 大 内 会 事 長 内 会 事 人 大 会 事 人 大 会 事 長 内 会 方 人 大 会 方 人 大 会 方 人 大 会 方 人 大 会 方 大 力 会 方 力 力 会	事 月沼代用水土地改良区理事長 古 事 月沼代用水土地改良区理事長 大 事 月沼代用水土地改良区理事長 大 期 日 市 長 大 期 日 市 長 九 点 市 長 内 大 市 長 内 内 日 方 市 長 内 方 方 方 市 長 方 方 方 方 方 市 長 方 <th>事 第</th>	事 第

邦

和

夫

良

同